

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・当市を舞台としたテレビドラマが始まるため、その影響に期待している。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	・安いサービスを求める顧客が減り、利益率が徐々に上がっている。
	○	百貨店（総務・経理担当）	・暑さが和らげば来客数は回復してくる。
	○	コンビニ（店長）	・夏休みが終わって平常に戻りつつあるが、秋の観光シーズンに入るので、全体的には微減で推移すると考えられる。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・猛暑の影響で来客数は伸び悩んでいるが、商品単価が上昇しているため、売上は上昇し続けるとみられる。来客数は天候やイベントで左右されるが、競合店が増えない限り、おおむね横ばいとみられる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・他の販売店も上向き傾向なので、今後も現状が継続すれば、決算も良い形で締めることができる。在庫の確保もしつつ、今期を締めたいと願うばかりである。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・追加の商品に期待したい。
	○	乗用車販売店（統括）	・新型車の発表による特需がある。
	○	その他専門店〔革製品〕（店主）	・年末に向けて、購買意欲が高まってくることを期待する。
	○	バー（経営者）	・来客数が増加してくる。
	○	観光型ホテル（予約担当）	・これから紅葉シーズンに入るので、来客数の増加に期待したい。
	○	都市型ホテル（宿泊担当）	・9月は低調であるものの、例年並みであり、10月以降は団体予約も好調であり、例年を上回ると予測している。
	○	都市型ホテル（宿泊担当）	・秋の行楽シーズンに向け、前年より個人予約が早く受注できている。
	○	都市型ホテル（総支配人）	・9月の宿泊予約は前年比マイナス5%だが、10～11月はプラス5%前後となっている。
	○	通信会社（企画・総務担当）	・競合企業の価格競争から、顧客の価格重視の傾向は今後も続くと考えられる。一方で、通信速度が速い高付加価値メニューへの変更件数も順調に増加している。
	○	テーマパーク（営業担当）	・秋の行楽シーズンになり、涼しくなれば集客に期待できる。
	□	商店街（理事）	・猛暑で客足が遠のいている。物価が上昇し、購入品の選択に変化が出てくる。金の使い方が若干変わってくるかもしれないが、どういった方向になるか分からない。景気は良くも悪くもならない。
	□	商店街（代表者）	・景気が良いときと比べると売上は低く、今後伸びることを期待する。
	□	商店街（代表者）	・当県は大手自動車メーカーの影響力が強く、米国の関税の先行きが決まるまでは景気が上向き気配はない。
	□	一般小売店〔食品〕	・商品価格の上昇が続いており、生活必需品以外の商品についての買い控えが続く。
	□	一般小売店〔茶〕（経営者）	・抹茶の需要はまだ続くとみられる。
	□	一般小売店〔印章〕（経営者）	・良くなる材料が1つもない。
	□	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・しばらく暑さは続きそうなので、余り変化はない。
	□	百貨店（広報担当）	・株価の最高値更新に合わせて、高額品の動きに期待を感じる一方、次の総裁選があるのか否かを含め、政治の先行きが不透明であるため、結果として現状と余り変わらないと考える。
	□	百貨店（営業担当）	・米国の関税、インバウンドなど、先行き不透明なことが多い。
	□	百貨店（営業担当）	・中間層が全くおらず、高額なハイブランド商品を求める客と安価な商品を求める客といった2極化に変化はない。
	□	百貨店（売場担当）	・前年同様、10月下旬まで暑さが続く予報で、シーズン商品を中心に苦戦が予想される。

☐	スーパー（店長）	・秋に最低賃金上昇の話が出ているが、扶養内で働くパートにとっては収入の壁があり、家庭内の収入は増えない。しかし、食品の値上げは続くので、景気が回復するとは考えにくい。
☐	スーパー（店長）	・今後も値上げの予定があり、単価上昇が続くなかで、販売点数の伸長が見込めない。良くも悪くもならず、変わらないと予想される。今後、景気が良くなる材料は見つからない。収入面の変化で大きく左右されるが、改善する流れは見えない。
☐	スーパー（店長）	・買上点数が落ちてきているが、来客数は減少していないので、売上としては現状維持となる。客の節約志向は依然としてみられる。
☐	スーパー（販売担当）	・今後も値上げ情報が多数あり、状況が変わる雰囲気は感じられない。
☐	スーパー（販売担当）	・9月も残暑が続き、食卓に大きな変化はないとみられる。
☐	スーパー（業務開発担当）	・最低賃金が大幅に上がるものの、同じタイミングで商品の値上げが控えており、現状のままでいけるのか非常に不安である。
☐	コンビニ（支店長）	・最低賃金の上昇による中小企業の経費負担増で、景気の落ち込みが懸念される。
☐	衣料品専門店（経営者）	・景気が良くなる要素がみえない。
☐	衣料品専門店（経営者）	・買回品の値上げが止まらないため、どんどん厳しくなっていく。
☐	衣料品専門店（代表）	・景気上昇には減税による経済発展が必要だ。
☐	家電量販店（企画担当）	・新しいスマートフォンの発売が予測されているが、市場に大きな変化はないとみられる。特に政策もないため、今と変わらない状況が続く。
☐	乗用車販売店（経営者）	・現在のところ安定して依頼がある。
☐	乗用車販売店（営業担当）	・物価高の影響で出費を抑える客が多い状況が長く続いている。金額の安い他社車検やネット保険に切り替える客も増えている。ガソリン暫定税率の廃止で少しでも客の動きが活発になるよう期待する。
☐	乗用車販売店（リース担当）	・景気が良くなる材料はなく、これ以上悪くならないことを期待したい。
☐	乗用車販売店（業務担当）	・物価高騰の影響で、当面同じ状況が続いていく。
☐	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・個人商店や中小企業の事業者は人件費が上がることで経営が難しくなるし、価格転嫁できないと聞く。良くなる要素がない。
☐	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・来客数が伸びる要素が見当たらない。
☐	一般レストラン（経営者）	・相変わらず食材の値上げが続き、経費面では賃上げが迫っている。また、猛暑と水道光熱費の値上がりもあって、外食に対する節約は続く。特に週末のファミリー層のディナー利用は減少が続くとみられる。
☐	一般レストラン（経営者）	・猛暑で農作物が不作である。
☐	一般レストラン（店長）	・大きく伸びる要素はないが、3か月先まで前年並みの予約が入っており、大きく落ち込むことはないと考える。
☐	その他飲食〔カフェ〕（店長）	・世の中に変化がない。
☐	観光型ホテル（副支配人）	・例年、秋の行楽シーズンは施設の利用客が多く、今年も昼の宴会等の予約が順調に入ってきている。
☐	旅行代理店（支店長）	・秋の繁忙期にどれだけ需要を取り込めるかが課題であるが、先行き状況は国内海外共に前年割れである。
☐	タクシー運転手	・人の動きがまばらで、良くなる要素はない。天候にもよるが、期待はできない。
☐	タクシー運転手	・客を刺激するようなイベント等があれば景気は良くなるとみているが、安定的な景気向上はあまり期待できない。
☐	タクシー会社（営業所長）	・大きなイベントはなく、前年と大きく変わらないとみている。猛暑予報なので、ある程度の集客は見込める。
☐	通信会社（運用担当）	・物価高による購買抑制が働く。

□	通信会社（総務担当）	・現状に慣れてきていることもあり、変化は期待していない。
□	テーマパーク（業務担当）	・9月と10月の予約状況は前年の50%程度となっている。残暑を警戒して様子をみている状況で、連休でもまだ空室がある状態となっている。
□	ゴルフ場（営業担当）	・10月以降の予約状況は例年並みに推移しており、今のところ変わらない。秋が短いといわれているため、10月の気候が心配される。
□	美容室（経営者）	・継続する物価上昇の影響で、客の節約志向が強まっており、2～3か月の短期間では現状に変化はない。
□	美容室（経営者）	・客や人の流れが戻らず、売上に結び付いていかない。新型コロナウイルス感染症の収束後は大変な状況となっている。
□	設計事務所	・案件の相談量が減っていないため、業務が今の段階で激減するとは考えられない。
□	設計事務所（経営者）	・建築物価はまだ値上がりしており、現場の人手不足もあいまっている。
□	設計事務所（経営者）	・収入の伸びが期待できないため客の反応は弱く、悪い状態は続く。
□	住宅販売会社（住宅設計担当）	・情報獲得量の回復を図るため、今までとは異なる施策を実施しているが、成果が出るまで時間が掛かるとみられる。
□	住宅販売会社（事業推進担当）	・経費削減や劇的な賃上げ施策でもなければ、悪化はなくとも、現状維持が続く。
▲	百貨店（外商担当）	・残暑により秋冬商材の売上が厳しくなり、前年実績をクリアすることは難しくなる。
▲	スーパー（店長）	・お盆期間中の数値の動きを見ると、牛肉や酒類といった高単価商品の動きが鈍く、お盆らしさがみられなかった。当店は流入店舗であり、近年まれにみる商品の動きとなった。
▲	スーパー（店長）	・来客数が増えない状況が続く。9月に多くの商品の値上げが予定されており、米価格が依然として高止まりとなっている。来客数は減少しても、商品単価の上昇の影響で売上は前年並みとなる。
▲	スーパー（営業システム担当）	・10月一杯まで気温が高い傾向との予測が出ており、冬物商材の売行きに不安が出ている。米価格も高値のままであり、コーヒー等の嗜好品も値上げの傾向で、節約志向はより強まっていくと予想される。何らかの物価高対策がない限り、消費が増えることはないとみている。
▲	スーパー（財務担当）	・物価の上昇による節約により、1人当たり買上点数が前年を下回る状況が続く。
▲	衣料品専門店（経営者）	・外出する人が少ない。
▲	家電量販店（店長）	・商品が壊れないと買換えの動きはなく、今より景気は悪くなる。
▲	家電量販店（副店長）	・夏の暑さが和らぐと、特にエアコンと冷蔵庫の需要が低下すると思われる。来客数も前年を割っている状況なので、景気が悪くなる。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・株価が上がっても一般消費者には関係なく、生活必需品以外の商品の売上は、物価高によりますます低迷する。
▲	その他専門店〔宝石店〕（店員）	・地金相場が影響する業種なので、値上がりが止まらず、客離れが継続している。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・猛暑が長引く可能性があり、端境期の商売が難しい。
▲	高級レストラン（事業戦略担当）	・夏休みが終わり、話題も少ない。
▲	一般レストラン（経営者）	・じわじわとインフレが進んでおり、何もかも高くなり、景気が良くなる気配はない。
▲	通信会社（企画担当）	・今月は移動や旅行を契機としての消費増加となったが、クリスマスや正月の時期まで、同様の購買機会は期待ができない。
▲	通信会社（営業担当）	・気温上昇や食品の値上げなどの経済的影響により、消費減退が予想される。
▲	放送通信サービス（総務経理担当）	・物価高に加え、米国の関税の影響が懸念される。
▲	通信会社（広報担当）	・客が価格の安い物を求める傾向は変わらない。

	▲	競艇場（企画営業担当）	・ 8 月のレースと同等の売上が確保できるレース開催がない。
	▲	美容室（経営者）	・ 物価高や光熱費、社会保険料など、出ていくものが増える速度の方が売上増よりも早く、なかなか利益に結び付かない。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・ 米国の関税や倒産件数の増加など、景気が徐々に悪化してくる話題が多い。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・ メーカーから更に値上げ要請が来ており、商品単価を上げざるを得ないが、その負担は消費者にお願いするしかない。
	×	コンビニ（エリア担当）	・ 当県にはインバウンドがほとんど来ない。来月には、菓子、アイスクリーム、酒、加工食品、調味料の値上げが予定されており、一般の客も高単価のコンビニにはなかなか足が向かない。今後も厳しい状況が続く。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・ 薄利多売の業界なので、商品粗利がこれ以上減少すると厳しい状況である。
	×	住関連専門店（営業担当）	・ 来客数の減少が止まらない。具体的な景気回復の施策がないと、耐久消費財の家具販売はとても厳しい。
企業 動向 関連 (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 新車が立ち上がるため忙しくなる。
	○	輸送業	・ 受注が増えている。
	○	不動産業（総務担当）	・ 賃貸住宅の需要時期であり、多少良くなると期待する。
	□	農林水産業（従業員）	・ 好転する要素がない。
	□	食料品製造業（営業担当）	・ 値上げを予定している。
	□	繊維工業（財務担当）	・ もうしばらく現在の気候が続くが、季節の変わり目の秋が短くなり、季節ならではの消費が鈍化する。
	□	化学工業（総務担当）	・ 欧州や中東を中心に不安定な海外情勢が続くことが予想される。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・ 人手不足解消の見込みはなく、景気回復の兆しがみられない。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	・ 電子材料関連のメーカーは足元好調であるが、一部のメーカーは需要の先食いともみられる。
	□	一般機械器具製造業（管理担当）	・ 現在の国内市場、海外市場とも大きな変化をもたらす要因が今のところ見当たらないことから、特に変わらないと見込んでいる。
	□	一般機械器具製造業（総務担当）	・ 受注量や販売量の動きに変化はない。
	□	電気機械器具製造業（総務担当）	・ 半導体需要は回復傾向がみられるものの、想定よりも遅れている。液晶パネルの需要回復はないが、電子部品の実装需要は回復傾向が続いている。
	□	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・ 受注先の内示情報から、景気に変化はない。
	□	建設業（経営者）	・ 建設コストの高騰で受注契約まで至らないまでも、取引企業の投資意欲はうかがえるため、景気は現状維持となる。
	□	建設業（総務担当）	・ 物価上昇や働き方改革の共通認識が深まり、交渉面で比較的スムーズに推移している。景気は現状が継続するとみられる。
	□	輸送業（営業担当）	・ 顧客から、当面、輸出案件が延期されると聞いている。
	□	輸送業（業務推進担当）	・ 特に大きなプラス要素やマイナスの要素もなく、取引先の動向にも目立った様子はない。
	□	輸送業（企画担当）	・ 海外情勢は当面変化がないとみられ、物価の上昇も余りみられない。
	□	通信業（企画担当）	・ 大きな地政学的リスクがなければ、クラウド、データセンター、セキュリティ関連の需要は継続的、安定的に見込まれる。客も計画的な更新計画を立てており、大きく減少、減収になる可能性は極めて低いとみる。
	□	金融業（経済産業調査担当）	・ 多くの企業で賃上げが不十分ななか、家計の節約志向は続くともみられる。
	□	広告代理店（営業担当）	・ 物価高の影響により、前年度と比較して全体的な売上が伸び悩んでいる。特に大手企業の地方掲出が減少傾向にある。
	□	会計事務所（経営者）	・ 人件費増加に向けて労働分配を増やすには生産性向上が避けられない。米国の関税の影響などマイナス懸念も多い。
	▲	食料品製造業（経営者）	・ 9 月に値上げが予定されており、商品動向に一段と注意を払い、改善を検討することになる。賃上げも含め、経営は大変厳しい状況となる。

	▲	化学工業（総務担当）	・ 米国の関税等の理由により、モノの動きが様子見の状態である。
	▲	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・ 輸向向け対応は一過性であり、この対応が終わると以前の生産水準に戻る。
	▲	鉄鋼業（人事・総務担当）	・ 受注が減少する。
	▲	金属製品製造業（総務担当）	・ 工作機械の客先からの中国向け特需による受注が9月で終わるため、仕事量の確保が課題となる。他業界からの受注獲得に注力していくが、少なくとも一時的な落ち込みはある。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・ 米国の関税の影響で、取引先で生産量の見直しがされている。
	▲	金融業（副支店長）	・ 当地域内の中小零細企業は大手プラント企業の業績に大きく左右されるため、現状大手プラント企業の不調が続いていることもあり、今後も景気はやや悪くなると想定される。
	×	—	—
	◎	—	—
	○	人材派遣会社（求職者対応）	・ 最低賃金が改定される時期に、別の派遣先の検討が増加する見込みである。
	○	人材派遣会社（事業部長）	・ 米国の関税の影響は徐々に小さくなっていくため、半導体関連と自動車関連からの新規求人数は回復していくとみられる。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・ 来年以降も駅周辺エリアに中規模、大規模ホテルの開業が計画されており、インバウンドを取り込むキャパシティを増大している。実際に国内外からの観光客も前年比で増加しており、外国人に至っては約70%増を記録している。
	○	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	・ 取引先から、お盆明け以降も中途退職が発生する話を聞いているため、引き続き有効求人数は増える見込みである。
	□	人材派遣会社（経営企画担当）	・ 人件費と物価の上昇が求人にとどの程度影響するか注視している。
	□	人材派遣会社（支店長）	・ 10月に年内最後の大きな動きがあるとみているが、これまでの傾向に鑑みて、余り大きな変化があるとは思えない。
雇用 関連 (中国)	□	求人情報誌製作会社（総務担当）	・ 繁華街の集客が悪いなど、景気回復につながる場面がみえてこない。
	□	求人情報誌製作会社（新卒採用担当）	・ 自動車関連企業において、米国の関税による売上への影響を懸念する声もある。それによって、2027年の新卒採用数は減少する可能性もある。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 更に悪くなるとは考えられないが、現状のままでは、地域企業、特に製造業、サービス業、流通業は大きく影響を受けることになる、経営者は口をそろえている。
	□	職業安定所（事業所担当）	・ 管内企業からは、米国の関税による企業活動への影響については、今のところ聞こえてこない。また、景気上昇の要因も見受けられない。
	▲	求人情報誌製作会社（大卒就職支援担当）	・ 米国の関税の影響が懸念される。
	▲	職業安定所（職員）	・ 米国の関税により大手自動車メーカーが生産調整をしていくとみられる。そのため、自動車関連会社の雇用に影響が出ており、特に派遣労働者や外国人労働者、高齢者への影響が大きい。今後も、米国の関税の影響が続く可能性は高く、景気悪化の可能性はある。
	▲	職業安定所（事業所部門）	・ 最低賃金の大幅な引上げの影響で、中小企業を中心に採用の抑制や人員整理が懸念される。
	▲	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・ 求職者不足や米国の関税など、景気にマイナス影響を与える要因があるが、景気を下支えるプラス要因は見当たらない。このため、今後は景気が相対的に悪化する可能性が高いとみられる。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・ 米国の関税の動きが不透明である。
	×	職業安定所（職員）	・ 10月の最低賃金引上げの影響で景気は悪化する。2年連続の大幅引上げにより、多数の事業所から経営ひっ迫の声が上がっている。商品価格へ転嫁せざるを得ないが、それが難しい場合、従業員の解雇や廃業も視野に入れざるを得ないという声が聞こえてきている。